

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2020年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務			作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	
工期	令和3年4月1日 ~ 令和3年4月12日			作成者	鈴木 悠平	
作業名称	LED標識撤去工		作業手順書	作成年月日	令和2年12月17日	
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	クレーン付トラック(4t積2.9t吊)、連絡車			改正年月日		
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	インパクトドライバー、ディスクサンダー、ラチェット、消火器、養生シート			現場責任者	自署サイン	
保護具	ヘルメット、手袋(刃物作業時は耐切削用)、安全带、保護メガネ			協力会社	会社名	
					協力会社責任者	自署サイン
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	①自動車運転免許証(大型)、②振動工具取扱者特別教育、④小型移動式クレーン技能講習			作業順序 1 現地確認 2 準備作業 3 LED標識撤去 4 撤去標識荷卸し 5 後片付け 6 7 8		
	⑤玉掛技能講習					
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	①作業責任者 1人、②作業員 1人					
	③小型移動式クレーン操作者 1名 合計 4名					
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	井口 英孝	周知会実施日			令和3年3月31日
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自家サインする)					

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定(防止対策)
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						

現地確認	(①) 作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	(①) 周辺安全確認	構造物の確認							

準備作業	(①、②、③、④) ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	(①、②、③、④) 車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							

LED標識撤去 ※別紙 高所作業車作業手順書、クレーン作業計画書、高所作業車作業計画書

(②、③) 固定ボルト取り外し	ディスクサンダーを使用し、ボルトを切断する作業	ディスクサンダーでボルト切断時、指をけがする。	△	×	△×	4		保護カバーの取付位置を確認し、切削手袋と保護メガネを着用し周囲に人がいないよう確認し作業を行う。
(②、④) 撤去した標識の回収	小型移動式クレーンによるLED標識の積み込み作業	吊荷に落下により作業員が下敷きになる。	△	×	△×	4		介助ロープなどを使用し吊荷の下には入らない。
(②、④) 撤去した標識の回収		現場構造物に接触し破損させる。	△	○	△○	2		周辺に構造物が多いときは、動かす前に再度確認し視認の悪い場合は誘導者を配置するなど対策をする。

撤去標識荷卸し	(②、④) 処分場所へ荷卸し	荷台から置き場まで小型移動式クレーンによる作業	吊荷に落下により作業員が下敷きになる。	△	×	△×	4		介助ロープなどを使用し吊荷の下には入らない。
---------	----------------	-------------------------	---------------------	---	---	----	---	--	------------------------

後片付け	(①、②、③、④) 車両洗車 道具整備・後片付け	電動工具の充電 道具の損傷有無確認							
------	-----------------------------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--